

# 令和6年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【〇〇小・中・中等教育学校】

⑥	次年度への課題と授業改善策
知識・技能	次年度に向けて (3月)
思考・判断・表現	

①	今年度の課題と授業改善策	
	学習上・指導上の課題	授業改善策【評価方法】
知識・技能	<学習上の課題> 国語・数学の「知識・技能」において、高い水準を維持しつつ、令和5年度全国学力・学習状況調査の自校の結果より2pt向上を目指す。 <指導上の課題> 生徒一人ひとりが課題を設定し、解決する能力をつける授業を学校全体で取り組んでいく。	⇒ 教科会を月1回行い、自ら課題設定できる授業の検討を行う。 【学びの指標にて、自ら課題を設定できる項目を昨年度から1pt向上させる。】
思考・判断・表現	<学習上の課題> 国語の「読むこと」、数学の「資料の活用(資料を読み取ること)」において、高い水準を維持しつつ、令和5年度全国学力・学習状況調査の自校の結果より1pt向上を目指す。 <指導上の課題> 朝読書の時間を確保し、生徒が静かに書物を読む環境づくりを全職員で行う。	⇒ 朝読書の時間の10分間を継続し、時間を確保することで、日頃から書物に親しむ機会を増やす。 【和5年度全国学力・学習状況調査の自校の結果より1pt向上を目指す。】

⑤	評価(※)	調査結果 授業改善策の達成状況
知識・技能		①結果分析(管理職・学年主任等) ②詳細分析(学年・教科担当) ③分析共有(児童生徒の実態把握) 職員会議・校内研修等
思考・判断・表現		結果提供(2月)

②	全国学力・学習状況調査結果について(分析・考察)	
知識・技能	①児童生徒による振り返り ②調査問題の解説 ③振り返りの終了報告	
思考・判断・表現	結果提供(7月)	調査結果分析(7~8月)

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一歩)

①結果分析(管理職・学年主任等)  
②詳細分析(学年・教科担当)

④	さいたま市学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	
思考・判断・表現	

③	中間期報告	中間期見直し
	評価(※)	授業改善策の達成状況
知識・技能		
思考・判断・表現	中間評価(9月) 目標・策の見直し	

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一歩)